

メモリアルフォト撮影のための  
ボートレース鳴門施設等利用要綱

平成29年10月

鳴門市企業局

(本要綱の範囲および変更等)

第1条 本要綱は、ボートレース鳴門で記念写真を撮影するためにボートレース鳴門の施設や設備、備品等（以下「施設等」といいます。）を利用する際の鳴門市企業局長（以下「施設管理者」といいます。）と施設利用者との一切の關係に適用します。

- 2 利用者とは、本要綱の内容を承諾の上、所定の手続に従い施設等の利用を申請し、施設管理者から利用許可を受けた方をいいます。
- 3 施設管理者は、利用者に事前の通知をすることなく、本要綱等を変更することができます。
- 4 施設等の使用について、ご希望に添えないことがあります。

(利用目的)

第2条 利用者は、ボートレース鳴門の施設等を家族写真、結婚、マタニティなどの記念撮影のために利用できます。

- 2 記念写真には、必ず人が写るように撮影するものとします。施設や設備、水面、ボートのみを撮影することは禁止します。

(撮影のために利用できる施設等の範囲)

第3条 撮影のために利用できる施設や設備の範囲については、次に定めるとおりとします。特に定める場合を除き、堤防の外側（棧橋やピット、水面）に立ち入ることはできません。

- (1) メインスタンド 1階から4階までのうちお客様滞留エリア
  - (2) ダイナミックキャビン 1階から3階まで（「ROKU」を含む）
  - (3) 屋外観覧席及び水上ステージ
  - (4) 芝生広場
  - (5) ボート整備場
  - (6) 駐車場
- 2 撮影のために利用できる備品の範囲については、次に定めるとおりとします。
    - (1) 展示用ボート
    - (2) 撮影用カポック
    - (3) 撮影用ユニフォーム
    - (4) 撮影用ヘルメット

(利用可能日、時間)

第4条 原則としてメインスタンドの休業日かつ担当部署の営業日の午前9時から午後5時まで利用が可能です。この利用時間には、準備や清掃等後片付

けを含みます。ただし、施設管理者の行事等により利用できない場合がありますので、申請時にご確認ください。また、施設の点検、補修および改造等施設の管理運営上やむを得ない場合は、臨時に休業日を設ける、あるいは利用の制限ができるものとし、臨時休業日の設定および変更等を行う場合であっても利用者に対しての補償はしません。

#### （利用の申請方法）

第5条 施設等の利用を希望する方は、利用希望日の30日前（当該日が担当部署の休日の時は次の営業日）から7日前（当該日が担当部署の休日の時は次の営業日）までに利用内容を『ボートレース鳴門メモリアルフォト撮影申請書』に記入し、受付時間内に担当部署に提出するものとします。電話・郵便・FAX・口頭のみでの申し込みはできません。

提出先 〒772-8510

鳴門市撫養町大桑島字湊岩浜48-1

鳴門市 企業局 ボートレース企画課

TEL 088-685-8111

FAX 088-685-0342

- 2 利用申請の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
- 3 内容により、施設管理者が質問や確認等をする場合があります。

#### （利用料）

第6条 施設等の利用料は、1時間当たり1,500円（消費税及び地方消費税、光熱水費を含む。以下同じ。）とします。1時間未満の利用については、1時間に切り上げるものとします。

2 前項の利用料は、施設等の利用希望日の前日までに納付してください。

#### （利用の制限）

第7条 以下の事項にあてはまる場合、あるいは施設管理者が利用にふさわしくないと判断した場合は施設等の利用を制限し、利用申込決定後または利用中において、利用の取消しまたは利用停止の処置をとる場合があります。この場合に生じる利用者のいかなる損害に対して施設管理者は一切の責任を負いません。

- （1）公の秩序を乱す、または善良な風俗を害する等、管理上または風紀上好ましくないと認められるとき。
- （2）政治的または宗教的集会、各種勧誘、募金活動等と認められるとき。
- （3）利用者が未成年のみであるとき。
- （4）施設等を損傷または滅失するおそれがあるとき。

- (５) 集団的にまたは常習的に暴力的不当行為等を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (６) 施設管理上支障があると施設管理者が判断したとき。
- (７) 火気の使用あるいは危険物の持ち込み等を行うまたはその恐れがあるとき。
- (８) 利用者が第三者に会場の利用権の全部または一部の譲渡・転賃の恐れがあるとき。
- (９) 申込書の記入内容が実際と異なる、または偽りがあったとき。
- (１０) 関係法令に反する、または関係官公署の指示に反するとき。
- (１１) 注意に従わない、または本要綱に違反すると施設管理者が判断したとき。
- (１２) 音・振動・臭気の発生により、周囲に迷惑を及ぼす、またはそのおそれがあるとき。
- (１３) 天災地変、法令の制定改廃、行政指導、社会情勢、経済状況の著しい変化、または、施設管理者の経営上の都合その他やむを得ない事由が発生したとき。
- (１４) その他施設等の管理上・運営上支障があると認められるとき。

(勝舟投票券発売及び払戻設備の利用)

第８条 勝舟投票券発売及び払戻設備については、利用できません。

(利用上の注意点)

第９条 本要綱および法の定める事項を遵守し、誠実に催しを開催してください。

- ２ 利用に際しては、施設管理者が運営するボートレース場来場者等に対して、迷惑行為となるような言動は謹んでください。
- ３ 利用中は、秩序維持、利用者の整理・案内誘導等を確実に行ってください。
- ４ 施設等利用中（準備、撤去を含む）に発生した事故については、利用者のみならず、関係者の行為であっても、すべて利用者の責任となりますので、事故防止には万全を期してください。
- ５ 危険物等の持ち込みは一切禁止します。
- ６ ペット（盲導犬等補助犬を除く）の持ち込みについては、利用申請時に施設管理者に必ず相談してください。
- ７ 許可なく施設管理者の施設内で物品の販売や展示、壁や柱あるいは扉への貼り紙、釘打ち等を行うことは一切禁止します。
- ８ やむを得ない理由により利用を中止する場合は、利用申請者が遅くとも開始３０分前まで受付に連絡するものとします。

- 9 利用申請者は「利用者の都合により中止になった」旨を関係者等に連絡する等の対応について責任をもって行うものとします。
- 10 駐車場は共有施設であり確保や占有はできません。また、満車時に周辺道路および施設管理者が管理する以外の土地への駐車は一切禁止します。
- 11 記念撮影の利用に必要なエリアの外への侵入は禁止します。
- 12 利用者が撮影した写真や、利用者が撮影している様子について施設管理者が撮影した写真を、ポートレース鳴門の広報等の目的で使用させていただくようお願いする場合があります。

(利用許可および許可の取消)

- 第10条 利用の許可は「ポートレース鳴門メモリアルフォト撮影許可書」の発行により決定します。「撮影許可書」は申込書提出後6日以内に発行します。
- 2 「撮影許可申請書」に虚偽の記載があった場合や、申し込み後に利用にふさわしくない事実が判明した場合、あるいは許可を受けた目的以外に利用された場合、台風等災害の発生が予想される等の場合には、利用許可を出さないまたは利用許可の取り消しを行うことがあります。
  - 3 施設等を利用する際は、撮影許可書を携帯してください。

(利用者の管理責任)

- 第11条 利用者は、来場者等の安全の為、災害や事故等に備えて事前に施設の非常口や消火栓の位置、避難誘導方法の確認をしてください。また、災害等発生時には、利用者をはじめとする来場者のすべてを安全に避難させなければなりません。
- 2 利用中は、利用者の責任の下に防災・防犯等の安全管理を行わなければなりません。
  - 3 会場の保安全管理の必要があると判断した場合、施設管理者は利用中であっても立入ることがあります。また、防災上必要と判断した場合は、機材等の移動を指示することがあり、利用者はその指示に従わなければなりません。

(荷物の搬入出および預かりについて)

- 第12条 荷物の運搬・搬入搬出、保管中の盗難・破損および汚損について、施設管理者は一切関知しません。
- 2 利用時間外に荷物を搬入および搬出することはできません。
  - 3 貴重品、精密機器、生鮮食料品、生き物については、利用中預かりません。

(利用者の現況回復の義務)

第13条 会場内外の建造物・設備・貸出備品等を毀損・紛失・汚損させた場合、利用者は、利用前の状態まで現況回復するものとします。

2 利用終了にあたり、発生した紙コップ、空き缶、配布資料等の残材等のごみはすべて利用者の責任において持ち帰り、利用前の状態まで現況回復するものとします。

3 利用後に利用者立会いの上、スタッフが施設・設備を点検・確認します。

(免責および損害賠償)

第14条 利用中の展示物および利用者・来場者・受講者等が持ち込んだ物(貴重品を含む)等の盗難・破損事故および人身事故等すべての事故については、その原因の如何を問わず、施設管理者は一切の責任を負いません。

2 天変地異、関係各省庁からの指導、その他施設管理者の責に帰さない事由により利用が中止されたときの損害について、施設管理者は一切の責任を負いません。

3 駐車場は無料で利用できます。ただし、駐車場内での事故または駐車中の車両に何らかの損害が生じた場合でも施設管理者は一切の責任を負いません。

4 利用者等が建造物・設備・什器・貸出備品等を毀損・紛失等した場合、施設管理者はその損害に応じて利用者に対し全額賠償請求します。

5 利用者が本要綱に違反したことにより施設管理者が損害を被った場合、その損害に対し全額賠償請求します。

(要綱の変更)

第15条 要綱の内容は、予告なく変更することがあります。その際には利用者等に告知するよう努めます。

(施設内での飲食等)

第16条 ポート整備場を除き施設等利用中の飲食等については禁止しておりません。ただし、施設内外の設備・備品、その他を破損・汚染・紛失させた場合は、利用者のみならず、関係事業者や来客者の行為であっても、すべて利用者の責任で賠償・現況回復するものとします。

2 飲酒運転等、法令に違反する行為は絶対に行わないでください。

(個人情報)

第17条 施設管理者は、利用者の個人情報を施設等の運営およびサービスの提供のために利用するものとし、適切な管理に努め、以下の場合等を除いて本人の承諾なく利用者の個人情報の第三者への開示提供は一切行いません。

(1) 裁判所や警察等の公的機関から、法律に基づく正式な照会を受けた場合

- (2) 利用者の行為が利用要綱に反し、施設管理者の権利、財産やサービス等を保護するため必要と認められる場合
- (3) 人の生命、身体および財産等に対する差し迫った危険があり、緊急の必要性がある場合

(遺失物の扱い)

第18条 施設内での遺失物は、利用日から通常1週間程度保管したのち、警察に届けることとします。

(喫煙)

第19条 ポートレース鳴門の敷地内での喫煙は、指定された場所のみ可能となります。厳守してください。

(その他)

第20条 利用者への電話、FAX等の取次ぎはしません。

- 2 施設等の管理運営上必要があるときは、施設管理者職員がご利用中の施設に立ち入ることがあります。
- 3 利用の承認を受けた施設以外の場所には立ち入らないでください。
- 4 その他、この要綱に定めのない事項については、事前に担当部署に相談の上、指示に従ってください。
- 5 本要綱に定めのない事項および運営上必要な事項は、別途細則等で施設管理者が定めるものとします。
- 6 施設管理者は、随時本要綱を改定することができ、その効力は全ての利用者に及ぶものとします。なお、利用者はその改定に関して、施設管理者に何ら異議を申し立てることはできません。
- 7 本要綱およびその細則等に関する一切の紛争は、徳島地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

附 則

この要綱は、平成29年10月1日から施行します。